第五週　召会生活の回復

2017 ITERO-F 5e 黙想のまとめ　亚玛拿

メッセージ鳥瞰　預言の範例

* Ⅰ:主題の説明/負担の言葉

Ⅰ　正しい召会生活を回復することの目標は、主の再来を準備することです

- 正しい召会生活には三つの意義があります：主の心に触れ、（正しい召会を活を回復するので）彼の敵を恥ずかしめ、主の再来を準備します
  啓22:20 …「しかり、わたしはすぐに来る」。アーメン。主イエスよ、来たりませ！

* Ⅱ:認識

Ⅱ　召会生活は団体的にキリストを生かし出す生活です（外面：生かし出す）

- 召会生活は、わたしたちがキリストを命とパースンとして受け入れ、彼がわたしたちを「一」の中に結合させ、団体的にキリストを生かし出す生活です。
- 実行においては、自分自身を十字架につけ、内側でクリスチャンとなることを学び、造り変えを経験することです。
  ガラテヤ2:20 わたしはキリストと共に十字架につけられました.
  生きているのはもはやわたしではありません.
  キリストがわたしの中に生きておられるのです. …

Ⅲ　そのコツはキリストを経験することにある（内面：経験して構成される）

- キリストを経験すればするほど、ますます正しい召会生活の中に生きるようになります。なぜなら、神の分与の目的は団体の表現を得ることだからです。
- ですから、わたしたちは絶えずキリストを命、パースン、すべてとして経験すれば、私たちの内側のキリストが、わたしたちの召会生活になります。
  エペソ3:17 またキリストが、信仰を通してあなたがたの心の中に、ご自身のホームを造ることができますように…
  エペソ3:21 神に、召会の中で、またキリスト・イエスの中で、栄光がすべての世代に至るまで、永遠にわたってありますように。アーメン。

* 経験

Ⅳ　召会生活の目標はキリストの頭首権の下でかしらにつり上げられることです

- 神のみこころは（エペソ1:10）時代の満了時のエコノミー［経綸］へ至るためです. すなわち、キリストの中で、…すべてのものを、彼の中でかしらにつり上げようとされたのです.
- ですから私たちは、（エペソ4:15）すべての事で、彼すなわちかしらであるキリストの中へと成長し込み、率先してキリストの中でかしらにつりあげられる必要があります。

Ⅴ　この目標に到達する道は交わりです

- 神聖な交わは織り合わさった交わりです
- 垂直の面（祈り/黙想）だけではなく、水平の面（取り組み/ブレンディング）もあります。
  1ヨハネ1:3…わたしたちの交わりとは、御父との、また御子イエス・キリストとの交わりのことです。

Ⅵ　過程の中で、キリストは継続的に栄光を得ます

- 栄光は神聖な命と神聖な性質の表現です。
- 神聖な栄光が現されることは主の復活から始まり、召会が生み出されること、成長し実を結ぶことで継続されます。
  ヨハネ12:23-24 …人の子の栄光が現される時が来た。…多くの実を結ぶ。
  ヨハネ15:8 あなたがたが多くの実を結ぶことで、わたしの父の栄光が現され…

* Ⅵ:まとめ

Ⅵ　正しい召会生活はキリストの団体的な表現のためです

- かぎは私たちが思いの霊の中を生きることです。イエスの人性の美徳を生かし出し、召会生活をキリストの香りで満たします。
  エペソ4:23-24　…そして、あなたがたの思いの霊の中で新しくされ、また、あの実際の義と聖の中で、神にしたがって創造された、新しい人を着たのです。
- 主がこのような召会生活を渇望しておられるゆえに、私たちはこのような召会生活が、私たちの間で完全に実行されるように祈る必要があります。
  マタイ6:10　あなたの王国が来ますように. あなたのみこころが天で行なわれているように、地でも行なわれますように。　啓22:20 主イエスよ、来たりませ！

第五篇 （補足資料）

2017 ITERO-F 5e 亜玛拿

祭壇の生活（十字架を経験する）主イエスを食べるが道

交わり（召会生活の実際）

目標

命	分与	調和	造り変え	成長←→建造←→栄光を得る	つりあげ ←→ パースンの合併
Zoe	神聖な分与： 神はキリストを私たちの中に注入する	キリストの内住 聖別 更新によって、 主と一つ霊となる。	その霊は私たちの内側にいます： 私たちを満たし、浸透し、造り変えます。	私たちはかしらであるキリストの中へと成長し込みます。 この命の成長こそ建造です。 神の建造と神の栄光は平行しています。	かしらであるキリストへつり上げられる Oneness

人類歴史の中の神聖な歴史

人類の歴史の中で、御使いと人類の反逆によって、宇宙はだんだんを崩壊しています。現在はあらゆる場所が混乱に満ちており、世界情勢はますます悪くなる一方でです。…。しかし、神聖で奥義的な領域の中で、主は彼の民を召しています：正しい召会生活を回復し、率先して一つかしらにつり上げられ、彼の再臨に備え、神聖な歴史の中を生きることを。

経験

召会生活において、聖霊は外科医です。十字架によって毎日私たちにおいて手術を行っています。私たちの内側にはその霊が十字架によって切除するべきものがたくさんあります。一つ目は肉です（ガラテヤ5:24）。その次は体の行いです（ローマ8:13）。私たち十字架によって古い人と自己が殺されることをも経験する必要があります（ローマ6:6、ガラテヤ2:20）。これ以外に、私たちの意見も十字架によって、その霊に除かれる必要があります（マタイ16:24）。私たちはまた、十字架によって人の知恵と賢さを滅ぼす必要があります（1コリント1:18～19）。私たちは更に、十字架が私たちのすべての規定を廃棄することを経験する必要があります（エペソ2:15）。そして、私たちはその霊の運行によって、十字架で死の権能をもつサタンを廃棄することを経験する必要があります（ヘブル2:14）。最後に私たちはその霊の運行によって、十字架でこの世を捨てさせる必要があります（ガラテヤ6:14、ヨハネ12:31）召会生活においてその霊が十字架によって運行していれば、それはきっと素晴らしい、最高の召会生活です。／**「召会生活の回復のための極めて重要な要素　第五章」より抜粋**

卑しいというのは低い地位にとどまることです。召会生活の中で卑しくなることを訓練するために、私たちは自分の御座から降りる必要があります。柔和とは自分のために争わないことです。召会生活の中で、私たちは決していかなることにも執着してはならず、他人を攻撃すべきではなく、自分のために争うべきではありません。ただ譲るべきです。私たちはまた忍耐強くあるべきです。忍耐強いとは他人の誤解に耐えることです。もし聖徒があなたを誤解したなら、あなたは何も語る必要はありません。逆に、あなたは彼らによる誤解に耐える必要があります。私たちはまた愛の中で互いを担い合う必要があります．召会生活の中で、すべての弱い肢体、厄介な肢体を担う必要があります。私たちはもしある一定の期間互いに担い合うなら、私たちはみな造り変えられます。これは私たちすべてがからだの一の中に保たれる道です。／**「召会生活の回復のための極めて重要な要素　第六章」より抜粋**